

鶯の聲は滑にして、殊に住所もいやしからねば、是も美少年のたぐひにはあらめど、風情や、おだやかならず、まして夜なかぬは、いぎたなしともいへりけり、

〔就狩詞少々覺悟之事〕一射まじき鳥の事 鶯

菊吸

〔大和本草十五〕菊吸スベ ウグヒスニ似タル小鳥ナリ

啄木鳥

〔新撰字鏡鳥〕鶯都聊作聊二反、寺豆支、鶯徒冬反、寺豆支

〔本草和名二十〕啄木頭、一名鴝、一名斲木鳥雷公採藥更和名天良都々岐

〔倭名類聚抄十八〕斲木 爾雅集注云、斲木、一名鴝音列、和名天良豆々木、好食樹中蠹者也、

〔箋注倭名類聚抄七〕爾雅鴝、斲木、郭注云、口如錐長數寸、常斲樹食蟲、此所引蓋舊注也、爾雅翼云、

此鳥褐者是雌、斑者是雄、又有青黑者、頭上紅毛如鶴頂、山中人呼山啄木、嘉祐本草、此鳥有大有小、

有褐有斑、褐者是雌、斑者是雄、穿木食蠹、又有青黑者、頭上有紅毛、生山中、土人呼為山啄木、大如鶻、

李時珍曰、啄木、小者如雀、大者如鴉、面如桃花、喙足皆青色、剛爪利觜、觜如錐長數寸、舌長於味、其端

有針刺、啄得蠹、以舌鉤出食之、

〔類聚名義抄二〕啄木テラツ、キ、鳥類 〔同八〕斲木テラツ、キ 〔同九〕啄木鳥テラツ、キ 鶯俗

〔徒冬反、テラツ、キ〕鴝今正音列、斲木

〔下學集上〕啄木クラツ、キ、鳥名也、爾雅云、鴝也、啄木

〔璫囊抄一〕鳥類字都虛

〔運步色葉集鳥名〕虫食 啄木 鴝

〔和爾雅六〕啄木鳥並同、鴝

〔藻鹽草十〕啄木鳥

たぐみ鳥これらつゝ、きの事と云々